

京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： 陸上競技 専門部

策定日： 令和 3 年 4 月 15 日

1、大会開催の専門部独自条件について

- ・ 京都府高等学校体育連盟における新型コロナウイルス対策共通ルールに準じて実施する

2、大会参加条件について

- ・ 大会参加者に大会1週間前からと大会終了後2週間の健康観察を義務づけ、その間体調に異常があった場合参加は認めない。
- ・ 大会当日は検温及び当日の健康観察表の提出を義務づける。

3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- ・ 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。

4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- ・ 日本陸連ガイダンスと昨年暮れに京都で全国高校駅伝を実施した際に作成したガイドラインに従い、医療・保健所・学校長の指示に従って対応する。
- ・ jaaf日本陸連ガイドライン・全国高校駅伝ガイドライン参照（添付）

5、学校（チーム）応援者・観客について

- ・ エントリー選手・マネージャーは来場可。
- ・ 保護者の入場については、インターハイ・ユース・駅伝など全国及びブロック大会に繋がる大会において保護者の観戦を認めることがある。その際、各校関係者は入場する保護者等を把握しておく。
- ・ 発声を伴う応援は一切禁止し、会場内において、選手、審判、補助員など大会関係者と接触することを禁止する。

6、専門部独自の感染症対策について

- ・ 別紙の令和3年度「新型コロナウイルス感染予防対策」大会運営マニュアル参照

令和3年度

「新型コロナウイルス感染予防対策」
大会運営マニュアル

京都府高体連 陸上競技専門部

京都府高校体育連盟 陸上競技専門部

京都府高体連陸上競技専門部主催大会における「新型コロナウイルス感染予防対策」

●大会実施判断（専門部が主催する各事業を含む）

- ・国による緊急事態宣言が発令された場合、主催大会は原則禁止。
- ・参加者や開催地の感染状況により、感染拡大の可能性がある場合、大会は中止する。
- ・以上の理由以外でも、各専門部独自の判断により、大会を中止する場合がある。

【主催者のルール】

○感染対策について

- ・（公財）全国高体連の基本方針や各競技団体ガイドラインに基づき、徹底した感染対策を講じる。
- ・各所に消毒用アルコールを設置。
- ・大会会場における飲食の機会を可能な限り少なくする。
- ・検温など健康状態の把握。（参加者・役員・関係者の名簿や体温計等を記載した書類を保管）
- ・屋内の換気。（1時間に1回以上、空気を大きく入れ換える）
- ・会場ごとに「感染予防対策担当者」を定め、感染対策の指揮を取る。

【参加者のルール】

○大会参加について（原則として医師・保健所の指示を遵守し、各学校長と専門部部長の協議・判断）

- ・発熱時の風邪症状があれば参加不可。（原則 37.5 度以上は参加自粛）
- ・参加者が所属する学校・学級・部活動が感染症のための臨時休業中の場合は参加不可。
- ・保健所により感染症の濃厚接触者と特定されるなど、感染拡大の可能性がある場合は参加不可。

○参加者の感染対策

- ・マスクの着用を徹底。（競技中以外の全ての場面）

【観戦・その他のルール】

○観戦の可否について

- ・大会を開催することを優先し、観戦者の安全を確保できる場合のみ観戦を認める。
- ・会場の大きさや競技特性、役員の体制から十分な感染対策を講じられない場合は無観客試合とする。
- ・観戦を認める場合でも、観戦者（保護者）の人数制限や、関係者以外の観戦禁止を検討する。

○観戦者の感染対策

- ・常時マスクを着用。
- ・基本的な感染対策を徹底。（手洗い、手指消毒、咳エチケット、声援など）

1 競技会開催にあたって

令和2年度は新型コロナウイルスの蔓延により、東京オリンピックの延期、全国高校総体の中止など多くの大会が中止となり、特に当時の3年生にとっては残念な思いをさせる年度となってしまいました。その反面、広島で開催された全国IH代替大会や京都府においては全国高校駅伝競走大会を開催するなど、このまま高校陸上生活を終わらせるわけにはいかないという主催者の思いが高校生の思いに実を結ぶことも出来た年にもなりました。

新型コロナウイルスはまだまだ終息するわけではなく、今後も急な変更を要することもあり得ます。本陸上競技専門部におきましては、京都府高等学校体育連盟から発表されております新型コロナウイルス対策共通ルールに則って大会実施を行って行く予定であります。令和3年度は全ての大会が開催されますように皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

■高体連主催競技会で、絶対に「新型コロナウイルス」感染者を出さないこと。

そのために引き続き「新型コロナウイルス」対応策に御協力いただく。

■特に令和3年度近畿ユース大会については、京都開催（たけびしスタジアム京都）であるため、全国高体連並びに近畿他府県の取り組みを参考にしつつ、全国高校駅伝の取り組みに評価をいただいたことを裏付けに、この大会が成功となるように皆様の御理解・御協力をいただく。

2 競技会前の対応

1) 別紙4「健康チェック表」を関係者は全員記入する。(選手・補助員・顧問・審判員・観客保護者)

ア 選手・補助員・顧問について

- ① 「健康チェック表」は、各校顧問が選手に配布、一定期間のチェック項目・検温を記入し顧問で管理をする。
- ② 大会当日、発熱があるなどの異常が確認できた参加者は、参加を辞退してもらう。
- ③ 毎大会時にIDカードを発行し、選手・補助員・顧問は首からぶら下げるホルダーにIDカードを携行し、それをもってID管理を行う。

イ 審判員について

- ① 審判員委嘱状と一緒に「健康チェック表」を送付し、記入してもらう。
- ② 「健康チェック表」を大会当日朝に提出してもらう。
- ③ 受付でIDカードを受け取り、審判員は首からぶら下げるホルダーにIDカードを携行し、それをもってID管理を行う。

ウ 保護者（観客）観戦について

■新型コロナ感染拡大予防の観点から、感染レベルに応じて、大会毎に無観客や「観戦可」の旨を、各校顧問を通じて連絡する。基本「インターハイ」・「ユース」・「駅伝」など全国大会や近畿地区ブロック大会に繋がる大会における観戦は認める方向で検討しているが、そ

の時の感染状況を鑑みて決定する。

「観戦可」の場合

- ① 事前に各校顧問から保護者への周知を徹底する。【保護者への連絡用紙あり】
 - ② 各校顧問が選手を通じて配布、記入してもらい大会当日朝に提出してもらう。
 - ④ 受付でIDカードとホルダーを受け取り、保護者は首からぶら下げるホルダーにIDカードを携行し、それをもってID管理を行う。帰られる際には、ホルダーの返却をお願いする。
 - ⑤ 出来る限り競技場での滞在時間を少なくする。子の競技が終了すれば、速やかに帰宅をお願いする。
- 2) 立て看板（無観客・有観客・注意事項等）を設置する。（スタンド入口、本部入口等）基本、IDカードや許可書がない者は入場できない。

3 競技会の対応

1) 人的対応

■競技会関係者について

- ア 競技会関係者（選手・補助員・審判員・顧問・観客）は、全員マスクを着用する。ただし、選手が競技中あるいはアップ中は、はずしてもよい。
- イ 審判員打ち合わせは、換気等を行いながら短時間で実施する。その後、各部署で詳細の打ち合わせを行う。尚、その際実施マニュアルを配布するなど短時間で出来る工夫をおこなう。
- ウ 開閉会式は原則として実施しない。
- エ 65歳以上の審判員、基礎疾患を持っている審判員は、十分な配慮を行う。
- オ 選手に直接対応する審判員は、フェイスシールドの着用をお願いすることがある。ただし、熱中症の関係で、息苦しい・気分が悪いなどの自覚症状がある時には、その役割を代わってもらうか、マスクのみの対応も可とする。
- カ トラックレースのスタート時には、密集を避けるためスタート地点には、概ね5組ぐらいを待機させ、それ以降の組は、少し離れた指定場所で待機させる。（総務・マーシャル対応）
- キ トラックレースでは、フィニッシュ地点の審判員は、選手がフィニッシュしたら手洗い場に誘導し、手洗い・洗顔を促す。
- ク マスクなしの会話、直接体に触れる接触、1m以内の密集は避けるように、アナウンスやマーシャルが定期的に注意を促す。
- ケ レース中、またはゴール後に倒れ込んだ選手については、マスク・フェイスシールド・ビニール手袋をした審判員4名で担架に乗せるなどして対応する。（各大会は看護師に依頼し待機してもらっている）
- コ 給水にあたる審判員は、手指消毒の上、マスク・フェイスシールド・手袋を着用し、使い捨て紙コップで対応する。
- サ スタンドでの観客は、おおむね1mのソーシャルディスタンスをとり、大声での応援を禁

止する。

■選手について

ア トラック種目の腰ナンバーは、各自で準備する【縦 12 cm×横 18 cm】。

スタートリストで確認し、各自で作る。(忘れた選手はチームで対応する)

ただし決勝種目のレーンについては、主催者で準備したものを使用する。

イ 選手は個別にウォーミングアップをする。原則付添は伴わないようにする。運動中につばや痰を地面に吐くことは厳禁。

ウ フィニッシュした選手はフィニッシュライン付近に倒れこまず速やかに移動し、審判の指示に、従い手洗い場で手洗い・洗顔を行う。

エ 投擲物を共有する場合は、毎回手指消毒をした上で投擲物に触れるようにする。競技中、不用意に手で顔を触らないように注意をする。跳躍種目(マット・砂場)も同様の注意を促す。

オ 滑り止め(炭酸マグネシウム)は、個人専用のものを持参する。やむを得ず競技場のものを使用する場合は、審判員から適量を受け取る方式にする。(審判員が紙コップで選手の手に移す)

カ 選手は、出来る限り競技場での滞在時間を少なくする。競技時刻(アップ時刻)に合わせた来場、競技終了後は、出来る限りすみやかに退場、帰路につく。また、できるだけ公共交通機関の利用を避け、送迎や徒歩、自転車などを利用して、密集を避ける努力をする。

■顧問・コーチについて

ア 事前事後のチームミーティング等は自粛及び短時間での実施に努める。

イ テントでの選手の「密」を定期的に指導する。

ウ テントはシートなどで密閉しない。通気性をよくする。

エ 応援の際、大声を出さない。また集団応援を自粛するよう指導する。

オ うがい・手洗い・マスクの着用を定期的に指導する。

カ コーチングの際にも、マスク着用の上ソーシャルディスタンスを保つ。

キ 選手・補助員は、各自の競技や任務が終了すれば、速やかに帰宅させる。また、競技や任務のない生徒は、来場を控えさせる。

ク 新型コロナ感染予防対策と並行して、熱中症対策にも配慮する。

2) 施設対応

ア 室内での閉鎖空間、役員室・記録室・写真判定室・更衣室等は、必ず換気(窓や出入り口の開放)をして、特に更衣室は短時間(5分程度)で更衣を済ませるようにする。また、混雑している時には、極力混雑が解消されてから更衣する。(状況に応じて人数制限を行う。)

イ 招集所では、出来る限りの間隔をあげ招集にあたる。

第一次コールは個人名に審判員が確認して○をつけ、シューズの確認を行う。第二次コールは現地で行う。その際、組み順・試技順を考慮(前半・後半、または3~4グループにわける

- 等)してコールを行い、密集を避ける。
- ウ 選手待機場所は、グループごとに分けて待機させ、密集を作らない。競技終了後のベンチ等は消毒液で消毒を行う。
 - エ 審判員待機場所は役員室、またはメインスタンド等風通しの良いところで休憩してもらう。
 - オ 人の出入りのある本部、競技場入り口、観客席入口等、消毒液を設置し、手指消毒をしてもらう。
 - カ 記録の掲示発表は行わない。すべて、場内放送、アスリートランキングで確認する。
 - キ 不特定多数が出入りする入口のノブ、トイレ、更衣室等は、定期的に消毒液によるふき取りを行う。
 - ク 本部前の通行は、跳躍選手・補助員・審判員のみとする。
トラック種目でゴールした選手は、メインスタンド裏側を通過して、スタート地点に戻る。
 - ケ チームテント設置可能場所（テント間は2m以上）
サイド・バックスタンド、競技場周辺許可場所
 - コ 発熱者が出た場合の場所（医務室）を確保する。

3) その他

- ア 熱中症対策にも注意し、こまめな水分補給、風通しの良い場所での休養等に心がける。
- イ ゴミは完全持ち帰りにする。特にマスク・濡れティッシュ・制汗シート等は、ビニール袋等に入れて持ち帰り各家庭で廃棄する。
- ウ 特に食事の際は間隔をあげ、向かい合い・会話を避けてとる。
- エ 喫煙所は設置しない。
- オ 原則、取材には応じない。取材を希望する場合は主催者に連絡し、その対応について理解・実践した上で、取材を可とする。

4 競技会後の対応

- 1) 大会終了後も2週間は「健康チェック表」を記入する。(選手・補助員・審判員・顧問)
感染者が発生した際に、濃厚接触者と判断された場合には、体調確認シートの提出を求められることがあるので、「健康チェック表」は大会終了後1カ月の保管を要する。
- 2) 大会参加者は全員、大会終了時の帰宅前後で必ず「手洗い・うがい・洗顔」を行う。
- 3) 主催者が使用した施設設備については、毎日、可能な限りふき取り消毒を行う。(机・いす・ドアノブ・トイレ・競技用具(スターティングブロック・投てき物・バトン等))
- 4) 大会参加後、発熱等の症状が続く場合は、必ず最寄りの保健所や下記の相談センター等に連絡するとともに、大会主催者にも報告する。
- 5) 観客から感染者が出た場合を想定し、スタンドでの観戦場所を記憶してもらうように印刷物の配布やアナウンスをする。
- 6) 体調不良時の連絡先
接触者相談センター 京都府内(京都市内)在住の方 075-414-5487

京都府以外に在住の方は居住地の保健所に連絡してください。
京都陸上競技協会 075-322-5500
西京極総合運動公園管理事務所 075-313-9131
主催者：京都市立西京高等学校 渡邊為彦 075-841-0010